

男女共同参画センター

りいぶる

～男女共同参画社会づくり～



写真提供：橋爪喜代さん（りいぶる人材養成講座修了生）

CONTENTS

- ①② 『2011年度 りいぶる事業』
- ③ 参画課いんぷおめーしょん
平成22年度男女共同参画に関する県民
意識調査を実施しました！！
- ④ 相談室の窓口から
- ⑤⑥ 講座ればおと
- ⑦ 図書・情報資料室より

“りいぶる”相談室から ～あなたはあなたのままで～

“りいぶる”では、女性が抱える様々な悩みを受けとめ、自分らしく生きるためのサポートをしています。

まずはどんなことでもお電話ください。

相談専用電話 073-435-5246

◇総合相談 毎週火～土曜日 [面接相談] 9:00～17:30 [要予約]

[電話相談] 9:00～20:30

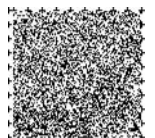
日曜日 [面接相談] 9:00～16:00 [要予約]

[電話相談] 9:00～17:00

◇女性のためのカウンセリング

毎月第1～4金曜日 13:00～16:40 [要予約]

◇女性のための法律相談 月3回 13:00～16:10 [要予約]



2011年度 りいぶる事業 ～男女が「いきいき」能力発揮～

新年度が始まりました。

和歌山県は男女が「安心」して社会参画できる環境整備に努めます。

今年度のりいぶるは、さらなる男女共同参画の視点を広めるために、より充実した講座を開催していきます。

〈男女共同参画の意識向上〉

職場でも家庭でも、男女がお互いの人権を認め合って、協力しあえるように意識を高めていきます。

従来からある男女の固定的な性別的役割（男は仕事、女は家庭）にとらわれることなく、新しい価値観を見出していきます。

ひとりひとりが十分に能力を発揮し、活かせる社会の実現を目指します。

〈仕事と生活の調和〉

男性の育児、家事の積極的な参画を目指します。

女性の経済的自立に向けた就職支援をおこない、また各種相談にも応じて女性のチャレンジを応援します。

仕事と生活の調和のとれた充実した社会を実現します。



2011 りいぶる

男女が「いきいき」、 能力が発揮できる 社会の実現

〈地域の人材養成〉

地域の男女共同参画の取組を推進していくためには、地域の人材養成が不可欠です。

そのために、地域支援のために働くことのできる人材を育成することを目的として、各地域で様々な講座を開催します。



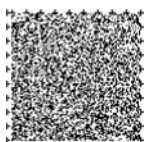
〈DVの防止、被害者支援〉

DVへの理解を深めるとともに、DV被害者への支援ができるように、DVへの認識を深めていきます。

学生を対象にデートDVについての理解を促すことで、早い段階でデートDVを知ることができ、その防止が図れます。

そのために、中高生への理解を促進するための事業を展開します。

また、DV被害者の支援者の養成に努めます。りいぶるの相談機能を充実させて、女性が抱える様々な悩みを受けとめ、サポートできる体制を整えます。



企画力養成講座

地域において男女共同参画の視点を持ち、地域の課題や問題解決に取り組む知識と実践力を持つ人材を養成します。

りいぶる基本計画サポート事業

市町村が策定した（しようとする）基本計画をサポートするため、市町村と協働して地域の人材養成や気運醸成の講座等を当該地域で開催します。

これからの地域の担い手を育成し、地域での男女共同参画推進のための活動に役立てます。

起業実践セミナー

雇用以外の就業形態としての起業に対する支援、自己実現・社会貢献を目指した起業について支援をします。

起業実践セミナー(地方版)

上記事業の地方版。農村漁村の特性を活かした起業について支援します。

DV被害者支援ボランティア養成講座（応用編）

DV被害者の救済・支援のため、地域で活動する人材を養成します。

デートDV防止啓発

高校への出前講座の実施及び教職員のための講演会等も開催します。

参画週間講演会

男女共同参画週間（6月23日～29日）にあわせ、広く男女共同参画の意識啓発を図ります。

演題：経営戦略としてのワークライフバランス

日時：平成23年6月29日（水）

19：00～（90分）

場所：和歌山ビッグ愛大ホール

講師：佐々木 常夫 氏

（株式会社東レ経営研究所 特別顧問）

主な著書『部下を定時に帰す「仕事術」』

『働く君に贈る25の言葉』

語り合い広場

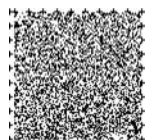
相談から見えてくる様々な旬の課題をテーマに、ゲストスピーカーの講義と参加者との交流会を開催します。（年2回程度）

男女共同参画相談員養成講座

市町村における相談体制をサポートするため、男女共同参画の視点にたった実践的知識や手法を有する人材を育てます。

公開セミナー

旬のテーマで共同参画を身近に感じて考え、ふるさとづくりへの県民の参画促進や社会的気運の醸成をつくる講演等を開催します。



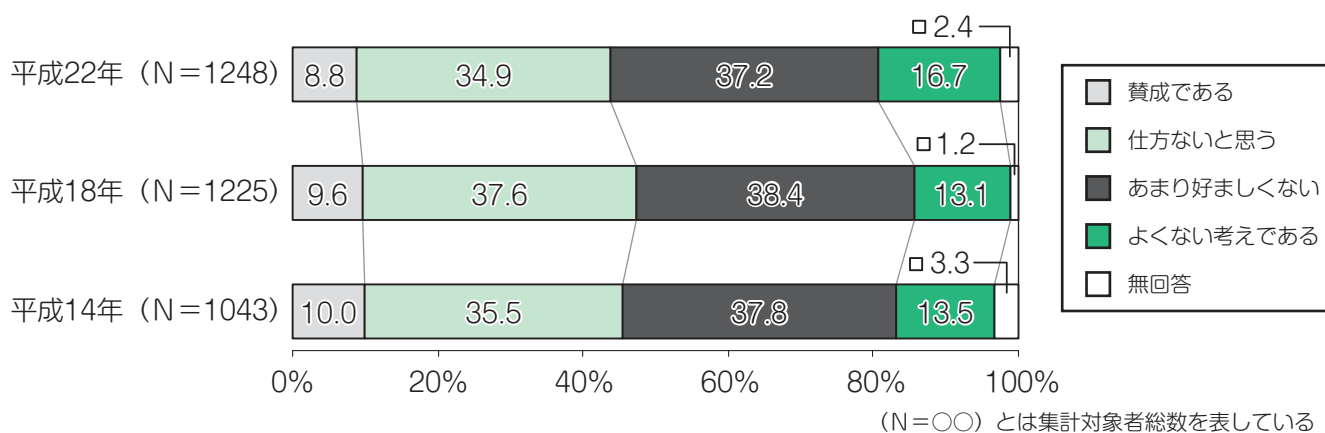
青少年・男女共同参画課いんぷおめーしょん

平成22年度男女共同参画に関する県民意識調査を実施しました！！

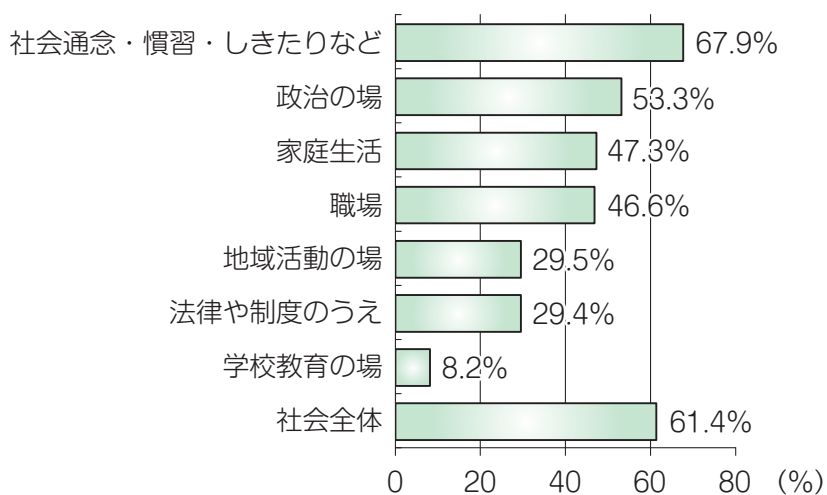
和歌山県では、平成23年度に予定している本県男女共同参画基本計画改定の基礎資料とするため、平成22年7月～8月に県民の皆様にご協力をいただき、男女共同参画に関する様々な観点からの意識調査を実施しました。

今回の意識調査の結果の一つとして、「男は仕事、女は家庭」など、性別によって男女の役割を決めるような考え方について、平成14年、18年調査と比較して、『肯定的な意見』（「賛成である」と「仕方ないと思う」を合わせたもの）は減少し、『否定的な意見』（「あまり好ましくない」と「よくない考えである」を合わせたもの）は増加してきていることがわかりました。〈下図参照〉

【男女の決められた役割分担についての考え】



【各分野で『男性優遇』と感じている人の割合】

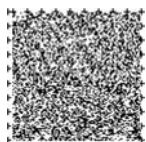


また、男女平等の意識については、「社会通念・慣習・しきたりなど」、「政治の場」、「家庭生活」等で、『男性優遇』と感じている人の割合が高いという結果になりました。

依然として、「社会全体」でも『男性優遇』と感じている割合は高く、今後も男女平等が実感できるような意識の改革や制度・運用の改善等を促進する必要があることがわかりました。

〈左図参照〉

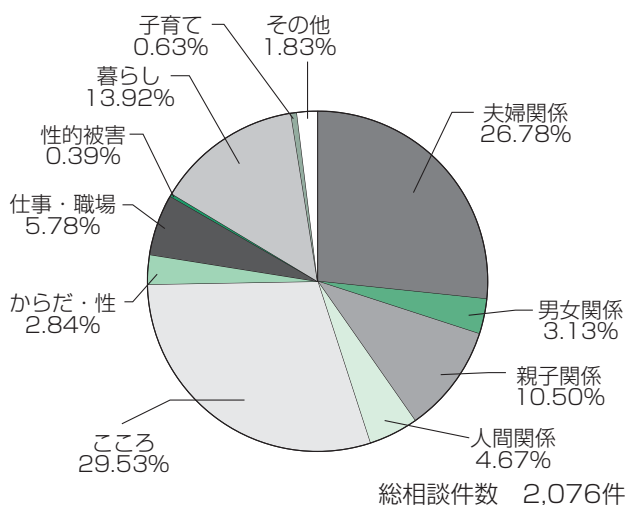
県民意識調査の結果を踏まえ、今後も『男女共同参画社会』の実現に向けて、一層取組を進めてまいりますので、御協力をよろしくお願いいたします。



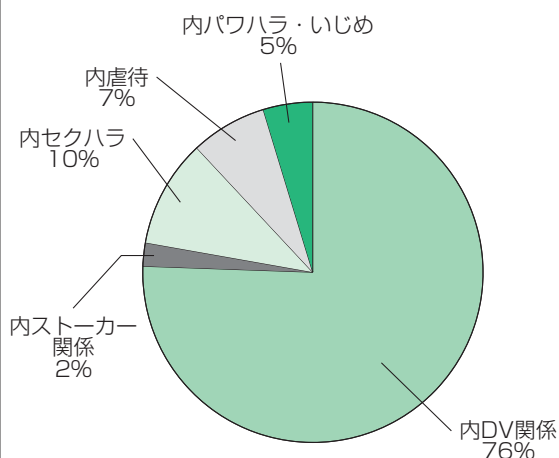
※意識調査は、「男女共同参画意識」、「結婚・家庭生活」、「子育てや子どもの教育」、「就労」、「社会活動、地域活動」、「人権、DV（配偶者等からの暴力）」、「男女共同参画施策」の7つの分野で実施しました。

2010年度 相談室の窓口から (集計期間：平成22年4月～平成23年1月)

相談内容



相談内容のうち暴力等が占める割合



総合相談の内訳内容

りいぶる相談室では、こころの問題や夫婦関係の相談が多く寄せられます。又、DVの相談や離婚にまつわる情報を得たいなど様々なニーズもあります。

相談内容のうち、暴力等が占める割合はDVが一番多いのですが、この中には子どもへの暴力も少なくありません。また、最近では、若い人たちの間に起こる、デートDVの相談も増えています。

平成22年度10月からはじまった男性相談は、月1回、第2木曜日の16:30から20:30まで行っています。相談件数は1月現在で、5件となっています。仕事のこと、夫婦関係のことなどコミュニケーションに悩み、生きづらさを感じていることが多いようです。

りいぶる相談室では、年々増える相談に対して、適切な情報提供とともに、相談者の気持ちに添いながら、解決の糸口を探すお手伝いをします。どんなことでも一言でも良いので少し話してみませんか。

“りいぶる” 相談室・男性相談 (電話相談)

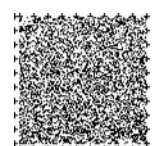
和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”は、男性のための電話相談を実施しています。相談を通じ、社会的につくられた「男らしさ」へのとらわれに気づくとともに、自分を大切にできる気持ちを取り戻し、その人らしい生き方ができるようにサポートします。

家族関係の悩み、パートナーとの気持ちのズレ、職場や地域社会でのストレスなど、どんな事でも「しんどい」と感じたらお気軽にお電話ください。

男女共同参画の視点をもった男性相談員が、気持ちを受け止め一緒に考えます。

秘密は厳守し、相談は無料です。

- 相談実施日 毎月第2水曜日
4/13、5/11、6/8、7/13
(平成23年度から曜日を変更しました)
- 対 象 男性
- 実施時間 各回16:30～20:30
*相談時間はひとり50分程度
- 先着順・予約優先
- お問合せ・相談の予約、受付
“りいぶる”相談室・男性相談窓口
TEL 073-435-5246
- 予約受付時間
9:00～20:30
*日曜日は9:00～17:00
月曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く



DV被害者支援ボランティア養成講座～基礎編～

開催日・場所：1月29日（土）・海南市民会館
1月30日（日）・海南市保健福祉センター

DV被害者支援ボランティアを養成することを目的に、(有)フェミニストカウンセリング堺・カウンセラーの藤原暁子さん、ウィメンスタディズ熊野代表の村上恵美子さん、和歌山県子ども・女性・障害者相談センター女性相談課長と海南市子育て推進課担当職員を講師に招き、海南市で開催しました。

藤原さんからは、DVについて被害者の心理的影響を含めた話があり、支援者として関わっていくためには、ジェンダーについて理解を深めることが大切だと学びました。

また、行政の取り組みについては和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの女性相談課長と、海南市の担当者から説明があり、社会資源を利用し支援する方法を知る機会となりました。

新宮市で被害者支援活動をされている村上さんのお話からは、「必要なものは自分でつくる」など、参加者のこれからの活動に活かせるヒントを得ることができました。



男女共同参画相談員養成講座

開催日：1月9日(日)、10日(月)、15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、
2月5日(土)、6日(日)

場 所：東牟婁振興局

男女共同参画に関する相談に対応できる相談員を育成するための講座（全15回）を、新宮市で開催しました。

講師には(有)フェミニストカウンセリング堺・カウンセラーの藤原暁子さんと宮野由起子さん、弁護士の松原敏美さん、ウィメンスタディズ熊野代表の村上恵美子さん、和歌山県子ども・女性・障害者相談センター女性相談課長をお迎えしました。

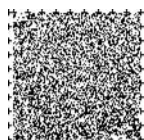
藤原さんからは、DVには様々な暴力があり複合して起こること、また被害者の心理や子どもにおよぼす影響などのお話があり、DVへの理解を深める時間となりました。

女性相談課長から和歌山県での取り組みについて、また松原弁護士からはいろいろな事例に対応するための法律知識について説明を受けました。

また、宮野さんからは「性」を考えることは自分の根っこを考えることであり、セクシュアルハラスメントは自分の根っこであるセクシュアルアイデンティティが脅かされる行為だと説明があり、人権問題として捉えることが重要であると学びました。

後半は、実際に相談員として必要とされるスキルについて指導を受けました。また、地元で活動されている村上さんから、活動にいたるきっかけや思いを聞き、支援のあり方を考える時間を持つことができました。

今回の講座は、参加者のほとんどの方が皆出席という、参加者が講師の熱意に応える素晴らしい講座となりました。



デートDV防止啓発事業 デートDV防止のための講演会とパネルディスカッション

開催日時：平成22年12月5日（日）13：30～16：00

場 所：和歌山ビッグ愛 1階 大ホール

●基調講演「知っていますか？デートDV」

講 師：伊田広行さん（立命館大学・神戸大学非常勤講師）

伊田先生は、DVとは「力で支配すること」であり、恋愛関係におけるあらゆる支配がデートDVであると説明され、会話形式の事例を用いて具体的にどの部分がDVにあたるのか、わかりやすい解説がありました。通常はDVとは思わないようなことでも、相手の自由や自己決定を奪うことはDVだという認識を持つことが大切です。

また、恋愛関係におけるDVだと逃げることはたやすいと考えてしまいがちであるが、簡単には逃げるできないという現実があります。家も学校も知られており、全てを捨てて逃げることは本当に困難です。その恐怖や諦めから、常に顔色をうかがい、“NO”を言う自由がなくなり支配が貫徹します。殴られたらDV、というものではありません。

グレーゾーンとは、どちらかが主体性をなくして相手の顔色をうかがい我慢している状態をいいます。そこからひどいDVにエスカレートしていくことが多く、グレーゾーンを理解することは、DVを見抜く力になります。

従来の恋愛観やジェンダー意識にとらわれず、個人を単位として相手の自己決定が尊重できる、“NO”と言える恋人関係を広げていくことが被害を減らすことにつながるということを学びました。

●パネルディスカッション「デートDV防止のために」

コーディネーター：金川めぐみさん（和歌山大学経済学部准教授）

助 言 者：伊田広行さん

パネ リ ス ト：貝原己代子さん（NPO法人さんかくナビ理事長）

高田昌代さん（神戸市看護大学教授）

播磨正弥さん（和歌山大学教育学部3年生）

宮本紗衣さん（和歌山信愛女子短期大学保育科2年生）



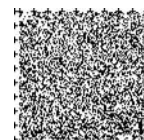
後半のパネルディスカッションでは、デートDVの予防や防止について、さまざまな意見や提案が出されました。

DVという言葉は知っていても、デートDVは知らないという学生が多く、自分が経験した行為がデートDVにあたると認識していない現状が浮かび上がってきました。

防止の第一歩は気づくこと、相談すること、周りの友だちなどが「おかしいな」、と気づいたら相談機関につなぐなど支援することが大切だという意見が出ました。

また、被害者もしくは加害者にならないためには、暴力を許さない、自分を大切にする、相手を大切にするの3点が大切です。具体的には、対等な関係で聴く姿勢、「私は」という言葉で話す、気持ちや感情を伝えるということです。DVもデートDVも人権の問題であり、根本にはジェンダーの問題があることを認識する必要があるということでした。

最後に伊田さんから、ひとりの人に振り回されることなく、いろんな経験をしながら個人単位で自己決定できるようになることが、自分自身の成長につながり、人生を豊かにすることになる。それを誰も邪魔をして支配する権利はないと結ばれました。



図書・情報資料室より

playback
2010

ランキング1位の図書・DVD・ビデオとその他貸出の多かったものをご紹介します。
(集計期間：平成22年4月～平成23年1月)



図書

👑 1位

「くらべない生き方 人生で 本当に大切にすべき10のこと」

大平 光代・鎌田 實 著
中央公論新社・刊

失業、うつ、介護など、さまざまな悩みを抱える人が溢れる現代、「幸せ」を感じるためにはどんな心掛けが必要なのでしょう。ともに、波乱万丈の人生を歩んできた2人による対談集。



〈貸出の多かった図書〉

☆今日を生きる	大平 光代 著
☆しがみつかない生き方 伝える力	香山 リカ 著
☆蝶々囁々 人間関係が驚くほどうまくいく 言いたいことがきちんと伝わるレッスン	池上 彰 著
	小川 糸 著
ゲゲゲの女房	平木 典子 著
素敵なお自分に気づく本	武良 布枝 著
性犯罪被害にあうということ	海原 純子 著
☆食堂かたつむり	小林 美佳 著
1 Q 8 4 BOOK 1 (4月-6月)	小川 糸 著
1 Q 8 4 BOOK 2 (7月-9月)	村上 春樹 著
	村上 春樹 著

書評誌「りいぶるBook~これ、読んだ?」で紹介された大平光代さんの著書が1位です。書評誌もあわせてご覧ください。
(☆印のついたものが紹介されました。)
全体的に自己啓発の意識が高まっている傾向がみられました。



DVD・ビデオ

👑 1位

「かもめ食堂」

(日本) 主演：小林 聡美
フィンランドにある、小さいけれど堂々としたたたずまいの店、「かもめ食堂」。普通だけど何だかおかしい人々が織り成す妙に懐かしく心地よい、かもめ食堂の物語。

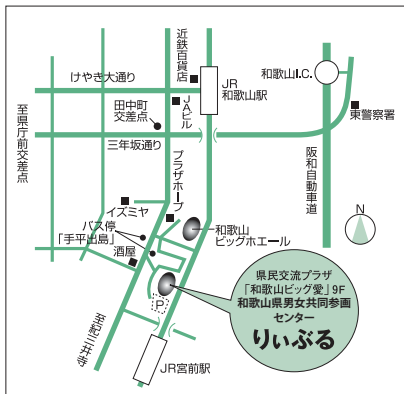


〈貸出の多かったDVD・ビデオ〉

- 佐賀のがばいばあちゃん (日本)
- イン・ハー・シューズ (アメリカ)
- ★ブルー・オブ・マイ・ライフ (アメリカ)
- ミラクルバナナ (日本)
- ★殞(もがり)の森 (日本・フランス)
- ★グーグーだって猫である (日本)
- 恋する婚活プランナー (韓国)
- ミュージカル 李香蘭 (日本)
- 西の魔女が死んだ (日本)
- ポストマン (日本)
- 接吻 (日本)
- ★幸せの1ページ (アメリカ)
- ユキエ (日本)
- 博士の愛した数式 (日本)
- ★ヘイフラワーとキルトシュー (フィンランド)
- みずぐ (日本)

DVD・ビデオの1位は「かもめ食堂」です。昨年度のランキングは2位でした。
★印のものは、平成21年度のランキングトップ10に入っていたものです。平成22年度も多くの方々楽しんでいただきました。

皆様、是非、図書室にお立ち寄りください。お待ちしております。



企画・発行

和歌山県男女共同参画センター
りいぶる

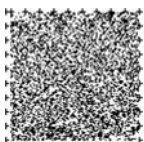
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245・FAX (073) 435-5247

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/index.html>

開館時間 火曜日～土曜日：午前9時～午後9時 日曜日：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜日・国民の休日(祝日)・年末年始(12月29日～1月3日)



“りいぶる”では皆さまのご意見、情報をお待ちしています。[メールアドレス] e0315011@pref.wakayama.lg.jpまで